

『イミテーションゲーム エニグマと天才数学者の秘密』

原題 The Imitation Game 2014



© 2014 BBP IMITATION. LLC

↑ 巨大マシンが打ち出したアルファベットをタイプして、暗号コードの内容を知る瞬間である。

映画批評

『イミテーションゲーム』

— 天才の苦悩に応えたエニグマの暗号解読

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

映画は人工知能の父と呼ばれ、伝説的な暗号解読者アラン・チューリングの実話を基にしたドラマ。第2次大戦中のイギリスで、チューリングは独ナチス軍の暗号「エニグマ」を解読するためのマシンを発明する。「エニグマ」に対抗するには手作業による解読ではなく強力なマシンが必要だと考える。機械には機械、という発想であった。

彼は「エニグマ」を真似た暗号マシン「クリストファー」を発明し、女性通信部隊が通信機で傍受した独ナチの暗号文を打ち込む。「クリストファー」が人間に代行して、幾億もの桁数を幾通りもの組み合わせに作り変える。気の遠くなるような時間のかかるやり方であった。打ち出された数字に該当するアルファベットの組み合わせから暗号コードを探り出す。改良に改良を重ねて、チューリングの指揮するチームが開発するのだが_____。



↑ 巨大な暗号マシンを組み立てるチューリング

はじめて組み立てられた巨大マシンの回転速度は非常に遅く、何時間も待っても何も打ち出さない。しかし高価な上位の部品にバージョンアップすることによって処理動作は早くなると、チューリングは信じていた。マシン VS. マシン。思考するマシンをつくろう。人工頭脳をマシンに搭載できればナチスの「エニグマ」に勝てると想定した。

チューリングは陸上競技アスリートであったので、自分の走る速度が上がることに重ね合わせて、「クリストファー」の解読速度も改良を重ねればアップすると信じた。当時の実物の速度は現在のコンピュータと比べると全くお笑いもので雲泥の差がある。人間の手作業の方がましなくらいであったが、チューリングは決して止めようとはしない。何としてでも実現しようとした。

実験打ち切り期限はあと1か月と宣告される。屈せぬ魂に応えるかのように、期限直前に「エニグマ」に勝つマシンを組み立てることができた。それは職員カフェで耳にした些細な一言がヒントとなったからである。キーワードを打ち込むことで「クリストファー」の作業を短縮できる、つまり処理時間を短縮できるのだが、入力すべき適切なキーワードが分からなかったのだ。ところが耳にした言葉を入力してみると、「ハイルヒトラー」とでた。ついに「クリストファー」が暗号を解読した。

そして、毎朝6時に出る独ナチスの暗号文を直ちに読破できるようになったのである。

本映画は、アラン・チューリングの天才数学者としての実像を史実に基づいてかなり正確に描いている。チューリングがスパイ疑惑をかけられ、最高の協力者で最愛の婚約者であるジヨンと別れなければならなかつたこと、執拗な身元調査で同性愛者であることを告白しなければならず、そのために裁判にかけられ刑罰を言い渡され、教授職や公職を剥奪され、刑期2年間の獄中生活よりは自宅でのホルモン療法をチューリングが選んだこと、等。41歳の若さでこの世を去った。チューリングは同性愛者であることを隠して極秘に暗号解読を成し遂げ、暗号解読とコンピュータ開発に半生をささげた人物であった。



↑ 婚約者ジョーンとダンスするチューリング



↑ チューリングが強制逮捕されそうになる



↑ クロスワード優勝者ジョン・クラークが応募



↑ 元婚約者で、チューリングの暗号解読の協力者であったジョーン

近年になって、英・米連合軍が独・ナチス軍に2年早く勝てたのはチューリングの功績による、と歴史家たちが評価し、秘密遵守の契約のもとに50年間も長期に亘る沈黙の中に隠されていた真実にやっと光が照らされたのである。英国首相は性差別判決を謝罪し、エリザベスⅡ世はチューリングに死後褒章を授与した。だが、それは2013年になってであった。

本映画には、英国パブリックスクールのエリート教育と宿舎生活やケンブリッジ大学、プレッチリー・パーク第八兵舎、戦時中の女性通信部隊、ロンドン空爆を避けて防空壕に避難する市民たち、暗号解読でUボートの動きを察知する様子、チューリング・テスト場面も取り入れられている。英語はイギリス英語。

【映画情報】

2015年4月11日(土)よりロードショー

2015年3月13日(金) TOHO シネマズ みゆき座ほか 全国ロードショー

配給: GAGA 英米合作 115分 © 2014 BBP IMITATION. LLC

監督: モルテン・ティルドゥム

製作: ノーラ・グロスマン、テディ・シュウォーツマンほか

出演: ベネディクト・カンバーバッチ、キアラ・ナイトレイ、マシュー・グードほか

第87回アカデミー賞にノミネート / ゴールデン・グローブ賞5部門ノミネート

トロント国際映画祭観客賞受賞

